

 あさくち

市議会 だより

平成22年9月定例会

No.7

平成22年11月1日発行

【主な目次】

9月定例会を開催……………	P2
議会改革に関する3議案を審議……	P4
委員会レポート……………	P6
議会改革特別委員会の構成……………	P7
議員11名が市政を問う……………	P9



寂光院の紅葉

議会改革・行財政改革に係る 3議案を審議

9月定例会を開催

9月定例会を9月7日から24日までの18日間の会期で開催しました。

初日に補正予算案4件、市道路線の認定議案1件、平成21年度決算の認定議案11件が上程されました。併せて、決算審査について代表監査委員から、今後の財政運営に当たっては、受益者負担金の適正化等に努める一方、徹底した経費の削減や事務事業の見直しを行うよう意見がありました。決算11件は閉会中の継続審査としました。

また、議員から議員報酬を10%減額する「議員報酬減額条例改正案」、「議会改革特別委員会の設置議案」、議長交際費の半減と公表を求めた「行財政改革・議会改革に関する決議」の3議案が提出されました。

最終日には、補正予算案4件、市道路線の認定議案1件をそれぞれ可決。議員から提出された3議案については、「議会改革特別委員会の設置議案」は全会一致で可決、「議員報酬減額条例改正案」、「行財政改革・議会改革に関する決議」の2議案は賛成少数で否決しました。

また、請願・陳情2件を採択し、意見書を政府関係機関等へ提出しました。

補正予算審議

一般会計補正予算 1億1,104万円を可決 (補正後総額 140億1,451万円)

● 一般会計補正予算

歳出の主なもの

- | | | |
|-------|------------------|---------|
| ● 総務費 | 市役所駐車場整備事業 | 275万円 |
| ● 民生費 | 健康福祉センター増築及び改修工事 | 9,600万円 |
| | 総合遊具・AED 購入事業 | 525万円 |



健康福祉センターを増築



三ツ山スポーツ公園に総合遊具を増設

●衛生費	倉敷西部清掃施設組合分担金	484万円
●農林水産業費	農家台帳システム改修費	356万円
●商工費	観光看板・マップ等作製費	462万円
●教育費	中央公民館アスベスト除去工事設計	207万円

● 特別会計補正予算

●老人保健特別会計補正予算	413万円
(補正後総額)	452万円)
●後期高齢者医療特別会計補正予算	40万円
(補正後総額)	4億6,754万円)
●介護保険特別会計補正予算	2,064万円
(補正後総額)	33億6,460万円)

市道路線の認定

次の市道5路線の認定を可決しました。

●金光町平ノ前1号線	140m
●金光町平ノ前2号線	64m
●寄島671号線	203m
●寄島672号線	45m
●寄島673号線	45m

請願・陳情

次の請願・陳情2件を採択し、意見書を関係機関に送付しました。

●30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費

国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請

提出者 岡山県教職員組合笠岡・浅口支部

紹介議員 大西洋平

●国・県に対して「私学助成の拡充を求める意見書」の提出を要請する陳情書

提出者 岡山県私学助成をすすめる会

決算認定

平成21年度決算の認定に関する11議案については、次のような質疑のあと、各常任委員会に付託し、閉会中の継続審査事件としました。

●平成21年度水道事業会計決算の認定についての質疑

問 岡邊正継議員

①損益計算書中の他会計繰入金2,181万9千円及び他会計補助金4,040万円はどのような性格のものですか。

②倉敷市及び西南水道企業団からの水の値段はそれぞれいくらですか。

③合併時に西南水道企業団に上水道を統一することを前向きに検討することになっていますが、市長のお考えは。

答 廣澤上下水道部長

①繰入金については、倉敷市からの分水と西南水道企業団からの受水の差額分。補助金については、旧町単位で実施した水道の拡張事業に伴う支払い利息分です。

②1トン当たり倉敷市からは税抜きで118円、西南水道企業団からは100円です。

答 栗山市長

③西南水道企業団からの受水の方が安価ですが、設備投資として約7億円という費用がかかります。償還するにはおよそ20年かかる。現在、笠岡市に申し入れをしている段階です。

諸般の報告

一部事務組合議会の人事

浅口市が、近隣市町と共同して事務を行う一部事務組合議会の臨時会が開かれ、当市議会議員が次のとおり、就任しました。

●笠岡地区

消防組合議会

副議長

田口桂一郎議員

●岡山県西部地区

養護老人ホーム
組合議会

組合議会

●岡山県西南水道

企業団議会

副議長

大西 恒夫議員



●岡山県西部環境 整備施設組合議会

副議長

原 彰議員



●岡山県西部衛生 施設組合議会

監査委員

井上 邦男議員



議員発議

議員報酬減額案は否決

●浅口市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 **【否決】**

井上邦男議員を提出者に4人の議員が賛成者として、平成23年3月まで市議会議員の報酬を10%減額する条例改正案を6月定例会に続き、提出しました。

井上議員は6月議会での提案後、市民からの激励と要望が寄せられた。議員も特別職や職員、不況にあえぐ個人所得などとともに痛みを分かち合うべきと提案理由を説明しました。

活発に討論した後、起立採決を行い、賛成少数で否決しました。討論の概要は次のとおりです。

反対討論

大西恒夫議員

趣旨については考えなければなりません、この問題が議会内の政争の具になっている気がします。議員の身分に関する問題であり、全員でよく検討して物事を決めていくのがいいと思います。

原 彰議員

いきなり市長・副市長・教育長が報酬を2割減額したから議員も1割削減すべきとは、余りにも乱暴です。議会改革特別委員会を設置し、議員全員で協議し、バランスの取れた浅口市議会にしたいと思っています。

香取良勝議員

現在35万円の報酬ですが、年金等で引かれて手取りは24万円。議員年金も破綻しており、年金はもらえない。何か他に仕事をしないと生活できないが、議員をしながらそれは出来ない。これから若い人が議員になれるようお願いしたいと思います。

賛成討論

岡邊正継議員

監査報告の中でも自主財源、地方交付税も減っている報告があり、市においても副市長を1人に、特別職の報酬2割カットを打ち出された。議会としても、執行部がそうした対応をしたときに正副議長から提案されてもよかったと思います。住民の方々にもご理解をいただける提案ではないでしょうか。

賛成討論

加藤淳二議員

議員報酬の1割カットは議会改革というよりも、行財政改革への協力をするためのもの。市議会旬報によると、5万人未満の市の議員の平均報酬は32万6千7百円。そのくらいまで、来年の春まで協力しましょう。

青木光朗議員

市長、副市長、教育長は2割カット、職員も減額となっており、執行部のほうでは行財政改革に努力しています。議員自らも行財政改革に取り組んでいかなければならないと思います。

畑中知時議員

職員の給与は、今年の人事院勧告もすでに減額することとされています。市長は特別職の給与カットを実施しましたが、議会の報酬には手をつけられていません。議会と当局は車の両輪だといわれており、お互いの立場を尊重しておられます。議員一人ひとりの良識を信じたいと思います。

議会改革特別委員会を設置

●議会改革特別委員会の設置

〔原案可決〕

中西美治議員を提出者に4人の議員が賛成者として、議会改革特別委員会の設置について提案しました。中西議員は地域主権時代を迎え、議会の重要性は増しており、市民から信頼される議会となるためにも、議員一人ひとりが精進する姿勢が必要。また、議会のあるべき姿や議会改革は議員全員で全般的に協議していくことが必要と、提案理由を説明しました。

賛成討論が行われ、採決では、全会一致で設置することにしました。討論の概要は次のとおりです。

賛成討論

畑中知時議員

国の地域主権改革、社会経済が激動している今日、議会も行政も的確に対処していかなければなりません。広く、深くお互いに内容を検討しながら自由な議論が出来る議会にするため、賛成します。

柚木毅議員

議員自らが行政改革に取り組むのは当然のことです。行財政改革を含んだ改革を議員全員で調査・研究していくことは、今後の議会活動を考える上で非常に重要です。

桑野和夫議員

議会ではルールや事実に基づいて民主的に議論することが大事です。議会基本条例の制定も含め、

議会活動のあり方についてしっかりと議論することが大事です。

議長交際費に関する決議は否決

●浅口市議会における行財政改革並びに議会改革に関する決議

〔否決〕

井上邦男議員を提出者に、4人の議員が賛成者として、提出しました。井上議員は、浅口市の行財政改革に協力し、議長交際費の半減と公表を求めるためと提案理由を説明しました。

討論の後、採決の結果、賛成少数で否決となりました。討論の概要は次のとおりです。

反対討論

大西恒夫議員

先に決まった議会改革特別委員会で討議すればいい。議員の身分に関する問題ですので、会派に属していないものも含め、委員会で大いに討議するべきです。

賛成討論

加藤淳二議員

議長交際費半減は行財政改革に協力するためのもの。特別委員会は議員報酬、交際費等を長期的に考える場です。今回は短期的に来年3月までの協力をお願いしているものです。

委員会レポート

各委員会での審議内容をお知らせします。

総務文教常任委員会

● 8月18日開催

耐震補強工事の完了した金光小学校北校舎、鴨方中学校体育館を視察し、執行部より工事概要の説明を受けました。

委員が、耐震補強工事の今後の計画について質問し、今年度は大規模地震により倒壊の危険性が高い4つの小学校の体育館について工事を実施する計画であり、その後は財政や学校の状況を勘案し、計画していかなければならないとのことでした。



金光小学校北校舎を視察(8月18日)

● 9月16日開催

付託された補正予算案1件について審査し、可決すべきものと決定しました。また、請願・陳情2件を採択すべきものと決定しました。

民生常任委員会

● 8月20日開催

委員会付託されている陳情2件について審査し、引き続き審査することとしました。

● 9月17日開催

委員会付託された、補正予算案4件について審査し、すべて可決すべきものと決定しました。

産業建設常任委員会

● 8月23日開催

浅口市の耕作放棄地対策について調査するため、金光町地頭下の再生された農地を視察しました。耕作放棄地対策事業として、11月から実費程度の負担で乗用草刈機等の貸し出しを予定しているとの報告がありました。委員からは農地の情報を公開するシステムを考えてほしいとの要望や作物を販売し、実益になるような計画を検討してはとの意見を出しました。



耕作放棄地対策地を視察(8月23日)

● 9月21日開催

委員会付託された議案1件、補正予算案1件について審査し、可決すべきものと決定しました。

● 行政視察報告

8月2日から3日まで、耕作放棄地の発生防止・解消活動について参考とするため、富山県砺波市を視察しました。

砺波市農業委員会では、遊休農地の地権者への意向確認や指導を徹底して行っており、農業委員や職員自らが、樹木や雑草の除去作業を行い、耕作してもらえぬ人を探し、利用権設定に結び付けていました。また、マスコミを利用した周知活動を行うことにより、利用者の希望も増え、5ヘクタールもの遊休農地解消に成功していました。

浅口市においても耕作放棄地の増加が問題となっており、市当局の積極的な働きかけと情報公開が必要です。



砺波市を訪問(8月2日、3日)

常任委員会

議会改革特別委員会の構成

議会改革特別委員会を設置し、議員全員が委員に選任されました。そして竹本浩司委員を委員長、大西恒夫委員を副委員長に互選しました。今後議員定数、議員報酬や議長交際費などの議会費に関すること、その他議会活動のあり方など、議会改革に関連することなどを調査・研究します。

議会改革特別委員会



副委員長
大西 恒夫



委員長
竹本 浩司

委員													
伊澤 誠	佐藤 正人	岡邊 正継	平田 襄二	桑野 和夫	加藤 淳二	原 彰	中西 美治	柚木 毅	藤澤 健	青木 光朗	田口 桂一郎	畑中 知時	香取 良勝
井上 邦男	道廣 裕子	高橋 範昌	大西 洋平										

議会の組織、運営等に関する下記の事項について調査研究を行います。

- ① 議員定数について
- ② 議会費について
- ③ 議会活動のあり方、環境整備について
- ④ その他議会改革に付随する課題について



進む鴨方駅橋上化工事

7月29日、8月30日開催
鴨方駅及び南北広場の整備状況について、本年度中には新駅舎、南広場、南北自由通路は完成予定です。一部の工事の工程が若干変更になったが、全体の工程には影響がないとの報告を受けました。旧福本屋跡地を当面一時預り駐車場として利用し、国道2号をまたぐ自由通路については、駅へのアクセス強化として必要な基盤整備であり、幅員3.5m以上で検討を進めていくとの説明を受けました。

現在ある3箇所の駐車場の扱いについての質問に対しては、完成後の利用状況等を見ながら検討していくとの答えでした。

鴨方駅周辺整備調査特別委員会

一般質問

会派代表者 2名が
議員 9名が

市政を問う！

9月定例会では、11名の議員が一般質問を行いました。
なお、一般質問の記事は質問した議員が作成した原稿に基づき掲載しています。

特別委員会

国道2号バイパス及び主要道路整備 調査特別委員会

● 7月29日開催

国道2号バイパスに関係する川手鴻之巣線の国道2号から北側、県道倉敷笠岡線の金光下竹地区より東の整備計画について、執行部より説明を受けました。

● 8月30日開催

県道矢掛寄島線の整備計画について、鴨方町地頭上地内は、全体計画1,650mのうち、事業着手は820mで、順次用地買収や工事を行っている。寄島町地内では、第2期工区全体計画1,800m中、



県道矢掛寄島線(寄島町)

現在460mを整備中で、年内には用地買収が完了し、平成23年度中に供用開始を予定しているとの事でした。

上下水道整備調査特別委員会

● 7月30日開催

上水道の受水先を、岡山県西南水道企業団に統一するためには、笠岡市に対し、水利権の譲渡として負担金を支払い、さらに送水管の設置工事にかんがりの費用が見込まれるとの報告がありました。委員からは莫大な経費がかかるため、現状のままでいいのではという意見と、倉敷市からの恒久的な分水は国の指導があり、好ましくないとの意見がありました。統一してはとの意見がありました。

下水道計画については、里庄町高岡・屋中地区の140戸余りを浅口市の公共下水道に接続してほしいとの要望書が届いており、技術的な検討が必要であるとの事でした。

● 9月1日開催

受水先を統一する場合の財源内訳や整備計画についての説明を受けました。委員からは、合併特例債を活用するならば、時間的に余裕がないので、早く方向性を出さなければならないとの意見がありました。

下水道整備計画については、浅口クリーンライフ100構想により、下水道未整備地区において、下水道接続と合併浄化槽設置とどちらが有利かを示す資料の説明を受けました。委員からは下水道事業に対する情報をもっと市民に公開するよう要望しました。



浅政会 代表 田口 桂一郎議員

金光地域の都市計画の線引きは

問

旧金光町時代から、線引きの廃止において議会で審議がなされていました。合併後も委員会等において取り上げられた問題であります。金光町時代とそれに続く新市になってからの、線引廃止に向けた執行部の行動はどのようなものでしたか。また今後、浅口市においてどのような手順で、この問題に取り組んでいくのか、その方針をお伺いします。

答 栗山市長

私の県議時代に一般質問で廃止を訴えてまいりました。この5年間、積極的な廃止に向けての行動は見えなかった。早い時期に県に対し、市の取り組みへの支援を要望します。

市民意識調査の実施

問

浅口市が誕生して4年が経過しましたが、現在の政策に市民がどの程度満足しているか、また今後どのような政策に取り組むべきか、それらを市民の意識調査によって知ることが大切です。市民意識を踏まえて、今後の政策を決定していくことが必要と考えます。市民意識調査の実施について、考えをお伺いします。

答 栗山市長

民意を市政の原点とすることは、政治の基本姿勢でもあります。時の変化、状況の変化とともに、的確に民意を政策に反映させていかなければなりません。このため、市民意識調査は、私の任期にはぜひ実施したいと考えています。

下水処理施設・合併浄化槽の今後の整備方針について

問

長期的な下水処理施設の整備指針となる県の「クリーンライフ100構想」の見直し案がまとまり、将来の人口減を踏まえ、財政負担が大きい公共下水道事業を縮小し、住宅ごとの合併処理浄化槽のウエイトを高める方針転換が報じられています。これから市の周辺地域に下水管を敷設するには、多くの費用が掛かることに加え、下水道の加入戸数が余り増えないことが

予想されます。今後下水道を整備していく地域と、合併浄化槽で下水を処理する地域を定めていくことが必要となります。そして現在の合併浄化槽の市からの補助割合を高め、浄化槽取替への補助も考えてはどうですか。

答 廣澤上下水道部長

汚水処理施設の整備手法を選定するため、平成21年度に浅口市のクリーンライフ構想100を策定しました。市内の下水道の未整備地域を小規模な集落に分け、下水道で整備するか、個別処理の合併浄化槽で整備するか、建設費と維持管理費を算定し、仕分けしたものです。未整備地域内の住民と調整を図り、全体計画の見直しをして、整備手法について検討します。



下水道整備工事中の現場

答 柚木生活環境部長

合併浄化槽設置に対する補助金を、年間で55基分の予算計上をしています。この事業の継続を国に対し要望します。浄化槽の取替え補助については、環境の保全並びに浄化の観点から、何らかの施策が必要と考えます。



清風会 代表 井上 邦男議員

財政改革について

問

清風会を代表いたしまして、財政改革についてお尋ねします。財政改革というのは無駄をなくし、市民の血税を効率的な運営をしていくということではないかと思っております。この地方財政の大変なとき、個人の所得の減少や企業の利益の悪化、そして雇用の不安もあり、非常に厳しい状態が続いているところです。当然、浅口市においても合併後10年がたちますと普通交付税の特別措置がなくなってくるわけです。こういう時期でありますので、議員が率先して改革をしていかなければならないと思います。近隣の議員の定数を調べてみますと、笠岡市は人口が約5万5千人で定数が24人であります。しかし笠岡市は2年後の選挙には22人と、2

名減に決まっています。人口比率にしてみますと、25000人に対して1人の議員がいるわけでありまして。井原市では、人口約4万5000人で定数が22人です。人口比率にしてみますと2000人に対して1人の議員となり、また、総社市では約6万6000人で24人の議員です。2750人に対して1人の議員がいるという事です。3市のことから考えて、これを浅口市に置き換えてみますと、約3万7000人に対して20人の議員がいます。人口比率にしてみますと1850人に1人の議員がいることになります。やはり改革をしていかなければならないと考えています。そして議員には政務調査費が月に3万円、年間36万円あります。是非これらも、今後いろいろと考えていかなければなりません。



議会改革も必要

答 栗山市長

歳入の根幹をなす市税収入は、現下の経済情勢を反映し、平成22年度決算見込みにおいては落ち込みが予想され、その他の収入についても伸びは期待できない状況でございます。歳出では、少子・高齢化対策を初め、学校施設の耐震補強事業や都市基盤の整備など、取り組むべき課題は山積しており、これら施策の展開には、多額の資金需要が見込まれております。さらに本市においては、現在、市町村合併による特例措置として、普通交付税が合併算定がえにより増額されております。この措置もあと5年6ヵ月後の平成28年度から、段階的に縮小されることとなっております。現時点での算定では、平成32年度には約9億円を超える交付税が減額される予測となっております。そのため、緊急に徹底した財政対策に取り組む必要があります。私は自らその姿勢を示す必要があると考え、6月補正予算で私と副市長、教育長の給料を20%減額いたしました。そして、市長交際費についても、180万円から90万円に減額し、半額といたしました。

問

市民の重要な血税を有効に使うためには財政改革が一番必要であると思います。今後職員・執行部・議会ともども、この改革を進めていかなければなりません。



香取 良勝議員

市職員の能力を 引き出す方策を!

問

市職員には、仕事を手際よくこなす職員とそうでない職員がいる。トコロテン昇格はもはや必要ない。長年、市長へのゴマすり昇格、配置転換を行ってきた経緯がある。消費税還付金を鴨方、寄島は国から返還を受けているが、金光の畑中町政において元守屋正男部長が研修に行ったにも拘らず能力不足で手続きを怠った為に市民の血税、8千4百万円を国から返還を受ける事が出来なかった。能力実績主義で市民の期待に応えられる配置、昇格、昇給等行って頂きたい。

答

栗山市長

一律に能力実績主義での配置転換や昇格というのは、考えにくいと思う。人材は組織の宝です。真に宝となるように生かしていくことが重要であり、職員の能力を最大限に発揮できるように考慮して配置転換等行いたいと考えています。

不必要な工事に 血税を使うな!

問

前市長は下竹地区地域対策工事、一般廃棄物処分場整備美化管理組合を名目に、4年間で4〜5千万円の予算を付ける必要のない工事をして来た。悪政である。田の中に誰も通行しない道路工事をした。また、畑中町長時代、畑中墓地に650m(幅4m)山を切り開き工事を完成させた。浅口市になってからも、個人墓地内に道路を作り、花壇までも血税で作った。それだけでは物足りず、栗山市長が就任された後にも、墓地の真下にある自宅から、直に上がれる道を作った。現市政も同じ事をしているのではない。他の市では迷惑施設に予算を付ける市はない。何故浅口市だけが迷惑施設に名を借りて市民の血税を投入するのか。私が調査した結果では今まで一般廃棄物処分場と称して工事をして来た内容の6割は不必要なものと思う。今年度に1千6百万円の予算計上している。下竹地区

答

栗山市長

に法外な賃金を支払い工事費を増し、市民の血税を支払った経緯があるが調査の上、刑事告発し返還要求する気はないか?今後不必要な工事はしないで頂きたい。栗山市長も改革は必要と答弁されているが本当なのか疑問がのこる。

寿光園については中村氏2億7千万使途不明金があると新聞に出た事がある。5千万円を22年度に支払うと、金光時代に答弁された。未だ支払っていない。玉島警察署が調査したが強い力(政治力)に屈し、調査を中断、検察と組んで不起訴処分終了、未だその金額が不明である。県の職員は仕事をしていないのか。

地域対策工事、金光一般廃棄物最終処分場は、平成9年11月旧金光町と下竹地区との間で協定書を締結し、環境整備美化管理組合も、浅口市と下竹地区で協議し管理委託をした。行政と地域が約束した事柄について尊重し、誠意を持って励行する事が大切。行政と地域のパートナーとして互いに信頼関係を深めていきたい。入札制度を導入し明朗会計であるので心配要りません。迷惑施設に対する補償は必要で、議員が要らないと思っても地元が必要だと思うケースもあります。

寿光園は県の役割であり浅口市は関係ありません。



佐藤 正人議員

「緊急医療情報キット」の 進捗状況は

問

高齢者・障がい者の方の緊急時の安全・安心を確保することを目的とした通称「いのちのバトン」。昨年12月定例会で公明党より提案し、現在、社会福祉協議会に委託されているとお伺いしていますが、進捗状況をお聞かせください。

答

安田健康福祉部長

現在、市内3地区でモデル的に進めています。将来的には市内全域で実施が出来るように協力していきたいと考えております。

認知症サポーター養成事業について

問

今後高齢化が進み弱者救済の面から、市の認知症サポーター養成の実態と今後の取組みを

お聞かせください。

答

安田健康福祉部長

浅口市は、県下でもいち早く認知症サポーター養成講座に取組んでおり現在市内で2千人を超えるサポーターを養成しています。今後もあらゆる団体に積極的に勧奨し、受講の拡大実施を図っていききたいと考えております。

避難支援全体計画の策定状況は

問

総務省消防庁の要請であります災害時ににおける要援護者の避難支援全体計画の策定はどうなっていますか。

答

安田健康福祉部長

現在、素案を策定中ですが、防災担当課と協力しながら自主防災組織の育成とできるだけ歩調を合わせて早急に完成させたいと考えています。

山間地域の水路の整備、 点検はどうか

問

浅口市には、多くの土砂災害危険箇所があります。山間地域の最近の現状としては、土砂や枯れた倒木が水路を塞いで流れにくいという状況があります。最近では深層崩壊という大規模な土砂災害も起きていますが、その温床にもなりかねません。市の対策をお伺いします。

答

栗山市長

現在の里山づくりの補助制度を発展させたものとして里山応援隊の創設を検討しております。積極的に活用いただき安全のまちづくりを実現していきたいと考えております。

地デジ化移行対策に万全を

問

2011年7月24日をもって地上デジタル放送に完全移行されますが、市民への周知徹底はどうでしょうか。難視聴区域対策、簡易チューナーの助成制度の考え、アナログテレビの不法投棄も懸念されますが、市の見解をお伺いします。

答

栗山市長

現在、マスメディアを通じて盛んに周知を行っていますが、市においては広報紙を通じて周知徹底しております。難視聴地域対策、共同アンテナ改修やチューナー取付け助成制度につきましては、市の全地域がケーブルテレビへの接続が可能であり、それに加入することですべての対策となるものと判断しております。期限は2015年3月末までです。

また、不法投棄の防止策については、ごみとして排出する市民や事業者の意識の問題であると考えられますので、家電リサイクル法による処理の方法や、不法投棄についての広報を定期的に実施していきたいと考えております。



柚木 毅議員

ごみの減量化と リサイクル率の向上について

問

市長はマニフェストや就任の施政方針において、環境・リサイクル社会を目指すことを表明されました。その中心をなすものが「ごみ20%排出抑制、リサイクル率20%向上」です。先般、ケーブルテレビで「混ざればごみ、分ければ資源」と題して、ごみの減量化に関する浅口市の広報番組が放送されておりました。市民一人ひとりがこの番組を見て、減量化に取り組んでいただけることを期待しますが、市長の掲げる「20%排出抑制」を達成するには、今一段の取り組みが必要であると思います。市では、今後どのような方法で減量化に取り組むのか、市民に分かりやすい行動計画をお出しいただきたい。

次にリサイクル事業についてです。私の地元

答

柚木生活環境部長

では、子ども会による廃品回収を、年四回行っております。廃品回収は、地元子ども会の収入にもなり、地域住民が協力するコミュニティ活動としても重要であると思います。リサイクル率を上げる施策での、執行部の取り組みについてお尋ねします。

市では平成19年2月に浅口市廃棄物減量等推進審議会を設置し、廃棄物の発生、排出の抑制、リサイクルの促進、環境型社会の実現のため廃棄物処理政策の総合的かつ中長期的な計画として、平成21年3月に、一般廃棄物処理基本計画を策定したところです。現在、この計画に沿ってごみの排出抑制、資源化推進施策としてPTAや子ども会などの団体による資源回収を促進し、その活動を支援する資源回収促進団体報奨金制度や、家庭での生ごみの堆肥化、減量化を図るため生ごみ処理機購入費に対する補助を実施しています。



ごみの減量化に一層の取り組みを

学校における熱中症対策について

問

ここ数年異常に気温が高い夏になっています。二期期になってもこの異常気温が続いており、子ども達の学校での生活が心配です。今後この異常気象は続くと思います。室内で子どもが活動している時の温度や湿度はより高くなってくるのではないのでしょうか。そうした現状の把握はしていますか。また学校、園での生活の中で現在出来る対策や家庭への啓発など行っていますか。この猛暑に対して今後、子ども達へ配慮した環境整備について検討していくことが必要ではないでしょうか。お考えを伺います。

答

筒井教育次長

毎日子どもたちの健康観察を入念に行い、体調不良を訴える子どもをしっかり把握して、活動しています。教室には、昨年度2台ずつ扇風機を設置して蒸し暑い空気が教室内にとどまらないように工夫をしています。子どもたちの健康を守る意味で拠点となる保健室には、エアコンを設置しております。体調のすぐれない児童、生徒への対応はできるようにしています。又、特に配慮を要する特別支援学級にも、可能な範囲でエアコンを設置しています。幼稚園においても、遊戯室の一つにはエアコンを設置していますので、その部屋を効果的に利用しながら、暑さを乗り切っています。



大西 恒夫議員

スピード感 情報公開 トップセールス

問 解りやすく説明をお願いします。

答 栗山市長

スピード感は、私の基本姿勢としております。情報公開は、あらゆる手段を使って、市の行政情報を積極的に公開します。トップセールスは、市の特産物、観光資源の発信、企業誘致などをします。

ごみ2割カット（1億円）

問 2割カットは1億円の無駄を省くことになりませんが、計画についてお尋ねします。

答 柚木生活環境部長

P・T・Aや子ども会等の資源回収の促進、家庭生ごみの堆肥化、生ごみ処理器の購入補助等を実施しております。

問 一袋10円を30円にして25円を地域の活動資金として還元する。また、資源ゴミは、その地域の収入になるように取り回すことを提案します。

答 栗山市長

減量化、リサイクル化、こうした向上に向けて提案頂きました案件を検討致します。

天然記念物アツケシソウ

問 天然記念物として規制を受ける範囲をお尋ねします。

答 城山教育長

本市のアツケシソウの文化財指定は、植物の個体指定ではなく、自生地としての地域指定です。自生地のアツケシソウを採取することは違反となります。規制のかかる範囲は、寄島干拓西堤防の周辺地域です。

寄島中学校の運動場

問 一部未買収の用地についてどのようなお考えですか。

答 栗山市長

地権者の方と、近々に会って話をする事になっております。自らが先頭に立って解決に努めます。



寄島中学校運動場未買収地

総合支所、教育委員会分室

問 県内で一番面積の小さい浅口市にどうしても必要か。縮小、廃止してはどうか。また経費は、いくらかかっておりますかお尋ねします。

答 城山教育長

二つの分室の経費は、年間約6600万円（内施設管理費4600万円）です。公民館職員との兼務となっております。縮小、廃止は総合支所の機能とあわせて検討すべきものと考えます。

答 櫛田企画財政部長

両総合支所の維持管理費は、年間約4000万円です。支所業務の縮小、廃止等については、住民サービスの点から十分な検討が必要であります。

市民に感謝状を

問 公的立場にない方々の奉仕に対する感謝の気持ちを表してはいかがでしょうか。

答 櫛田企画財政部長

新たな表彰制度を8月に設け10月に第一回の審査を行う予定です。具体的には公職者に限らず、産業、福祉、環境美化、防災、教育、文化、スポーツなどの分野で一定期間貢献された方等、また人命救助された方などを対象に年四回行う予定です。



桑野 和夫議員

非核平和行政の推進を

問

「再び被爆者をつくるな」「地球上から核兵器をなくせ」こうした被爆者の叫びが世界の声となつて大きく広がっています。

今年是被爆65周年という節目の年、唯一の被爆国として世界から核兵器をなくすため、平和な日本にするため、役割を発揮することが求められています。その上で浅口市として、

①核兵器の廃絶、平和な日本を求める決意を示すため、啓発塔の設置などに取り組んでほしい。
②平和式典や原水爆禁止世界大会の開催に合わせ小中学生を対象にした平和バスを運行してほしい。

③144カ国4144都市、県内では8市と広がっています平和市長会議に加盟してほしい。

答

栗山市長

核兵器の脅威と平和の尊さを次世代に引き継ぐことは大切であり、平和バスの運行は現在計

画はありませんが、啓発運動や平和市長会議への加盟については検討したい。

ごみステーションの新設・改修に適切な援助を

問

来年度から金光地区を中心にごみ収集の分別化が拡大されます。そうなれば、ごみステーションを新しくしたり改修する必要がある所がでてきます。地元の人は設置場所をさがすのが困難との声が多くあります。市としてしっかり相談にのつてほしい。また現在最高で30万円のごみステーション施設整備補助金を増額してほしい。

答

柚木生活環境部長

適正な設置場所やステーションの規模について、早急に地域の方々と連携を密にして検討していきたい。

答

栗山市長

補助については改修費用等で地域の負担が大きくなります。早急に対応策を検討します。

佐方地区の南部開発 大谷のまちづくりの今後は

問

金光町佐方地区を中心とした南部開発、金光町大谷地区の門前町としてのまちづくりは浅口市の発展にとって重要であります。その上で、①佐方地区は、今後バイパスのインターができ

ます。そうした中での開発は、景観が豊かな中池、くだもの、ひがさき踊りや吉備神楽、こうしたものを生かして進めてほしい。

②大谷のまちづくりはいかに商店街に足を運んでもらうかが大事。まちづくり協議会と金光教、浅口市がしっかり議論してほしい。



門前町として大谷まちづくりを

答

田村副市長

大谷のまちづくりは、滞在時間が少しでも長くなり、にぎわいを取り戻していくように三者で考えていきたい。

答

栗山市長

南部開発は、工業団地計画との整合性を図りながら今後検討したい。竜王山整備への補助はどういう形でさらに援助できるか検討したい。大谷のまちづくりは、若い方を含めて、まちづくりをやるうという人達と積極的に議論していきたい。



加藤 淳二議員

遊休用地と建造物の 今後の活用について

問 市民の税金で取得し、建造した遊休用地と建造物、及び、生徒減による学校の教室は、今後どのように利用していきますか。

答 榑田企画財政部長

主なものとして、旧郵政公社の職員住宅の土地と建物は、売却処分、JT跡地は、施設用地として有効活用、福本屋の跡地は、当面は駐車場として利用していきます。

答 筒井教育次長

余裕教室は、少人数指導や特別に支援を要する児童・生徒、不登校傾向の児童・生徒のための個別指導、総合的な学習等に活用しております。



JT 跡地（鴨方町六条院中）

道路網に関する 整備方針について

問 浅口市総合計画には、地域間交流を担う道路網の整備、浅口市都市計画マスタープランに、道路網に関する整備方針があります。市長がかわることによって方針が変わりますか。そして、今後の工事はどのようになりますか。

答 松田産業建設部長

道路網に関する整備方針は、市長の交代に伴う見直しは現状ではありません。工事内容、完成時期については、事業主体が、国とか県になっており、それぞれの事業主体で工事が進められています。県工事の南浦金光線は今年度完成予定、国道2号玉島笠岡は、金光インターチェンジまでは、27～28年度完成予定で進めています。都市計画道路の見直しについては、計画決定後30年を経過する道路を対象として検討し、検討した案については、ホームページで公開しています。

下水道処理区域の 整備計画について

問 下水道処理区域において、国・県の方針に基づいてどのような変更をし、今後の計画はどうなりますか。そして、市民の皆様の説明していきますか。

答 廣澤上下水道部長

平成21年度に第3回の変更新認可をし、26年度までの整備計画は、整っています。クリーンライフ構想については、これから区域の設定をし、早目に住民に説明していきます。



中西 美治議員

スポーツ少年団や部活動支援を一層強化しては?

問

スポーツ事業や文化事業を企画・運営している人材の活力やノウハウを活かした、明るい、元気のあるまちづくりについてであります。

子どもたちは、スポーツを通しての日頃の練習や鍛錬は技術力の向上や強い心身をはぐくみ、養うとともに、よりよい仲間づくり、人づくりにつながっています。

各種の試合、大会での好成績は結果ではありませんが、大きな夢と感動を与えてくれます。一方指導者や協力者は、ほとんどがボランティアの方々であります。

そういう現状を鑑みて、スポーツ少年団や部活動を支援する施策を一層推進していただきたい。具体的には、施設の整備充実、指導者の育

成や待遇改善、中学校部活動の外部指導者の導入、補助金の増額です。

答 筒井教育次長

新規の施設の建造は困難

スポーツ少年団の活動に関する環境整備は新たな施設の建造は費用的に困難であるが寄島のフットサル場は、スポーツ少年団の子どもたちの練習場として有意義な場所となっています。また、金光八重スポーツ公園、寄島運動場への防球ネットの設置をし、効用増を図っております。

補助金は約500万円以上

補助金の増額については、各スポーツ少年団に対して、日本体育協会への登録料、スポーツ安全保険加入料、物品購入、県大会参加費など、さまざまな補助事業を行っており、今年度も約500万円を予算計上しています。また予算に現れない施設予約や使用料の面でも優遇・減免処置もしています。

育成・増員にはさらに協力!

指導者の養成や待遇改善の面では、指導者認定講習会の参加料を助成しており、スポーツ少年団の運営に不可欠な認定員の育成、増員に今後協力していきたいと考えています。

スポーツ少年団の活動支援 積極的に推進

スポーツ振興の重要な一翼を担うスポーツ少年団の活動支援は、自主運営の基本を踏まえながら、今後ともハード、ソフトの両面に亘って、市として一層協力し、推進していきたいと考えています。

答 栗山市長

現段階では見直しは考えていない

浅口市ではスポーツ少年団、体育協会、総合型地域スポーツクラブ等への会場使用料の減免措置を行い、また市内の生徒、児童、園児の団体が教育上の目的で使用するときや県や備中ブロッタの冠のついた共催の大会等についても、同様の支援を行っており、スポーツ環境づくりの推進に取り組んでいます。減免措置は特例的な取り扱いであり、現段階で見直しについては考えていません。今後研究してみたいと思います。



サッカースポーツ少年団の練習



伊澤 誠議員

広告入り無償提供封筒の導入について

問

昨今、行財政改革と言われる中、新たな財源対策として、広告事業の強化に取り組んではどうでしょうか？さらなる財源の確保の上、市民サービスの向上、地域経済の活性化・情報伝達を図ることを目的として、広告入りの封筒を無償で納入していただける業者を募り、納入業者は広告を掲載して頂ける広告主より広告料をいただき、無償で納入していただける形式となります。また、窓口で住民票及び戸籍証明書等を持ち帰る時に便利な窓口封筒の設置も同時に検討してみられてはどうでしょうか？

答

柚木生活環境部長

窓口・受付用の封筒でございますけれども、現在、県下6市におきまして採用され、浅口市におきましても採用に向けて、現在、業者と最終デザインの詰めを行っているところです。12月ごろ設置の予定です。

答

栗山市長

広告入り無償提供封筒の拡大を初め、市ホームページへのバナー広告や、市広報紙への広告掲載の強化など、前向きに検討をしたいというふうに考えており、このような工夫を重ねていくことで、市役所の改革も徐々に進んでいくものと考えます。

鴨方駅橋上化に伴い、駅の南口に交番を

問

JR山陽本線鴨方駅の橋上化に伴い、新しく浅口市の窓口となる鴨方駅ですが、利用者の増加が予想され環境の悪化と、国道2号線へ駅南口が隣接することによる、交通事故の発生が心配されます。また、小学校・高校へ通学する児童・学生への安全確認と非行防止、不審者や痴漢からの防犯または緊急避難場所として、駅前（南口）への交番の設置を、岡山県警並びに県へ要請してみてもどうでしょうか？観光客等の道案内もお願いできると思うのですが、執行

答

安倉理事

部または市長のお考えをお尋ねいたします。

現在、天草公園入口にある交番ですが、築33年と古うございます。所轄の玉島警察署におきましては、建て替えを検討しており、現在の場所に建て替えるか、あるいは鴨方駅南側周辺で新たな適地が見つければ、そこに建て替えるかを検討していると聞いております。

答

栗山市長

駅前交番の件でございますけれども、市民の安全・安心を確保することは、市政にとって最も重要な課題であるとともに、政治の基本責任でもあります。その為駅前交番の実現に向け、私自身が県警へ要請するなど最大限の努力、協力をして参りたいと思っております。



駅の南口に交番を（写真は鴨方交番）



道廣 裕子議員

公共交通の整備 今後のスケジュールは

問

「ワンコインバス」（仮称）と銘打つてのアンケートでしたが、バス路線のみなのか。他の方法も組み合わせ、よりきめ細かいサービスが出来るようにしてほしい。今後のスケジュールはどうか。

答

櫛田企画財政部長

市民の方々が利用しやすいように安価な百円ということで仮定させていただいた。ジャンボタクシーやマイクロバスで路地に入ることをなるべく取り入れたい。アンケートで要望の多いものを取り入れ、経費や効率性なども考慮して計画をすすめます。

スケジュールでは、市長から出来るだけ早くとの指示を受けておりますが、運行形態によっ

ては国、県との協議が必要になってきますが、一生懸命やりたいと考えています。

答

栗山市長

出来るだけ小さな道にも入りたいのが基本的な考え方です。将来バスの愛称も募集します。

国民健康保険税の引き下げを！

問

国保会計の21年度決算の繰越額は4億円余となつています。平成20年度は一度引き下げており、それでもなお繰り越し増があるということです。

市内5500世帯が加入していますので、5500万円あれば1万円の引き下げは可能です。是非引き下げていただきたい。

メタボ健診受診率引き上げも必要ですが健康についての自己管理も指導していただきたい。

答

柚木生活環境部長

基金のとりくずしなども含め、引き下げについては慎重に考えたい。医療費の改善、指導は国保税の引き下げにつながるので健診の受診率の向上に努力したい。

答

栗山市長

自己管理は非常に大切なので、今後被保険者への医療費の改善、指導を考慮しながら引き下げについては一定の継続性も見極める必要があ

るので慎重に検討したい。

三ツ山スポーツ公園から 水門までの県有地の整備を

問

埋立て当時の事務所跡に2基の大きなタンクとそこから海へ放流していたパイプのつなぎ目に直径30センチ程の大穴が開いていて、万が一にも子ども達には危険です。

早急に撤去、整理をお願いしたい。また、県有地の整備で自然に親しめる場所として野鳥観察等の小屋を設けていただきたい。

答

鈴木寄島総合支所長

パイプについてはアッケシソウ見学者のために50メートル撤去しています。危険な箇所の確認をして、あれば岡山県に要望します。野鳥観察は、干拓D地区の開発の時点で確保するよう考えます。



早急な整備が求められる県有地

答

栗山市長

景観上、安全上、観光の観点から岡山県とよく相談します。

12月定例会の予定

会期：12月7日(火)～12月24日(金)

主な日程

(全て9:30分開会)

- 7日：本会議（市長の政務報告、議案上程）
- 13日：本会議（一般質問）
- 14日：本会議（一般質問）
- 15日：本会議（一般質問・議案質疑・一部採決・委員会付託）
- 16日：総務文教常任委員会
- 17日：民生常任委員会
- 20日：産業建設常任委員会
- 24日：本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）

※傍聴をご希望の方は、当日、市役所3階議会事務局で、傍聴券をお渡しします。お気軽にお越しください。

※上記日程は変更となる場合があります。

贈らない！ 求めない！ 受け取らない！

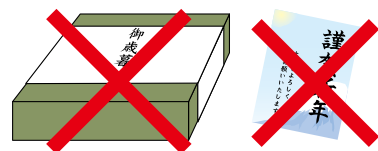
寄附行為等の禁止について

公職選挙法により、政治家が選挙区内で寄附行為等を行うことは禁止されています。

このため、市議会議員はお中元・お歳暮を贈ったり、地域の行事に差し入れや祝儀を出すことは出来ません。また、選挙区内に年賀状を出すことも禁止されています。

また、市民から市議会議員に対して、寄附を出すよう勧めたり、要求したりすることも禁止されています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



岡山県市議会議長会研修会に参加

8月17日、岡山県内の市議会議員を対象に研修会が行われ、浅口市議会議員も出席しました。研修会では、千葉大学法経学部教授、新藤宗幸氏を講師に迎え、「地方分権改革と地方議会」を演題に講演が行われました。

新藤教授は、「地方分権により、地方自治体の裁量が増えれば、議会の責任も増す。重点化すべき事業を議論する必要がある。」「議員が住民と積極的に対話、討論する必要がある。」など、地方議会の分権改革への取り組みを高める必要性について述べられました。



声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、**鴨方**はるか会のご協力により、議会だよりを音訳しています。

詳細については議会事務局へ。

編集後記

今回の「あさくち市議会だより」の主な内容は、6月定例会以降の各委員会の活動状況、9月定例会での議案の審議などです。

編集に携わった広報特別委員は、議事録を精査し、また市民の皆様に出来るだけ分かり易く表現するなど細心の注意をしました。

更なるご理解ご協力をお願いいたします。

広報特別委員会委員長

中西 美治

広報特別委員会

委員長 中西美治

副委員長 伊澤 誠

委員 佐藤正人 平田襄二

桑野和夫 原 彰

柚木 毅 道廣裕子



議会だよりは再生紙を使用しています